

本資料のうち、枠囲みの内容は、テロ対策における機密に係る事項であるため公開できません。

ディーゼル発電機との差分評価（モード1～4）

ディーゼル発電機(DB設備)の設計要求		DB機能代替として考慮すべき事項		ディーゼル発電機(DB設備)		大容量空冷式発電機(SA設備)		中容量発電機車(SA設備)	
				基準適合性		基準適合性	評価	基準適合性	評価
設置許可添付八より	外電喪失 外部電源が完全に喪失した場合に、発電所の保安を確保し、安全に停止するための電源を供給する	要	代替設備が期待される性能要求として考慮が必要	○	×	容量が不足、及び起動に時間を要するため、基準を満たさない	×	容量が不足、及び起動に時間を要するため、基準を満たさない	
	事故事象又は過渡事象 工学的安全施設等作動のための電源を供給する	要	代替設備が期待される性能要求として考慮が必要	○	×	容量が不足、及び起動に時間を要するため、基準を満たさない	×	容量が不足、及び起動に時間を要するため、基準を満たさない	
ディーゼル発電機設計方針(設置許可申請書より)	自動起動	要	代替設備が期待される性能要求として考慮が必要	○	△	手動起動であり、基準を満たさないが、運転員により速やかに手動起動する手順を整備する。	×	手動起動であり、基準を満たさない。	
	単一故障	否	DBにおける設計要求であり、代替設備の機能としては単一系統により満足するため、考慮不要	○	△	単一故障は、DB設備の多重性、多様性、独立性を確認するためのものであることから、考慮不要とする	△	単一故障は、DB設備の多重性、多様性、独立性を確認するためのものであることから、考慮不要とする	
	物理的分離	要	ただし、DB区分分離ではなく、DBと代替設備との機能分離を考慮する	○	○	DB設備と分離された設計となっている	○	DB設備と分離された設計となっている	
	構造強度及び機能維持(荷重組合せ)	要	代替設備が期待される性能要求として考慮が必要	○	○	想定される荷重に地震荷重を適切に組み合わせた状態で、健全性及び機能を損なわない構造強度を有する設計としている。	○	想定される荷重に地震荷重を適切に組み合わせた状態で、健全性及び機能を損なわない構造強度を有する設計としている。	
	共用の排除	要	代替設備が期待される性能要求として考慮が必要(代替機能に影響する場合の共用は不可。DBとの共用、号炉間の共用)	○	○	共用する設計となっていない	○	共用する設計となっていない	
	試験可能性	否	代替設備の機能要求として関係ないため考慮不要(結果的にSA設備に対しても考慮されている)	○	○	運転可能性を確認するため定期的な試験ができる設計となっている	○	運転可能性を確認するため定期的な試験ができる設計となっている	
	必要容量	要	代替設備が期待される性能要求として考慮が必要	○	△	容量が不足するため、基準を満たさないが、必要補機のみを手動起動する運用であれば問題なし	×	容量が不足するため、基準を満たさない(2台並列運転を行うことで必要容量を補える可能性はあるが、対応に時間を要する)	
	連続運転期間(燃料容量)	要	代替設備が期待される性能要求として考慮が必要	○	○	発電所内の燃料貯蔵設備に定格出力で7日間以上連続運転できる容量を保有する設計となっている	○	発電所内の燃料貯蔵設備に定格出力で7日間以上連続運転できる容量を保有する設計となっている	
外的事象	耐震	要	代替設備が期待される性能要求として考慮が必要	○	○	基準地震動に対して、必要な機能が損なわれる恐れがないような設計となっている。	○	基準地震動に対して、必要な機能が損なわれる恐れがないような設計となっている。	
	耐津波	要	代替設備が期待される性能要求として考慮が必要	○	○	基準津波に対して、必要な機能が損なわれる恐れがないような設計となっている。	○	基準津波に対して、必要な機能が損なわれる恐れがないような設計となっている。	
	耐その他外的事象	要	代替設備が期待される性能要求として考慮が必要	○	○	その他外的事象に対して、必要な機能が損なわれる恐れがないような設計となっている。	○	その他外的事象に対して、必要な機能が損なわれる恐れがないような設計となっている。	
総合評価				一部の機能を代替可能		・必要補機を手動起動にて対応可能であれば、代替可能	代替不可	電源容量及び電源供給までに時間を要することから代替は困難である。	

○:基準を満たす
△:基準を満たさないものの、影響はなし
×:基準を満たさない